

令和元年度県政モニター「ごみの減量化」に関する意識調査 集計結果

【実施概要】

私たちの生活から発生するごみは、環境意識の高まりにより減少しておりますが、まだ多くのごみが発生しており、生活環境を守るためにも一人ひとりが自分のこととして考え、ごみを減らすことや再利用することに取り組む必要があります。

今回、「ごみ減量化」に関する県民意識を把握し、今後の行政施策の参考とするための意識調査を実施しました。

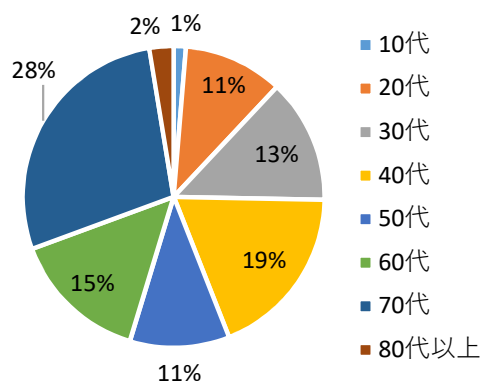
【回答者数】

75名/163名（回答率46.0%）

【集計結果】

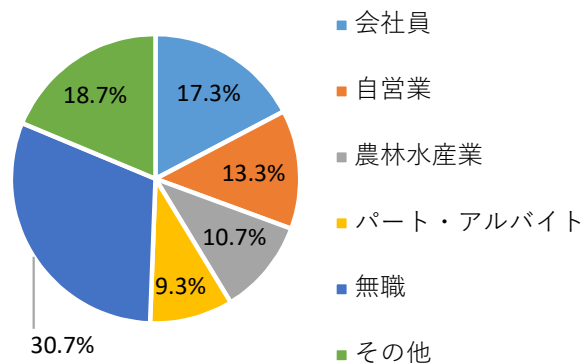
問1 あなたの年齢をお答えください。

区分	人数	割合
10代	1	1.3%
20代	8	10.7%
30代	10	13.3%
40代	14	18.7%
50代	8	10.7%
60代	11	14.7%
70代	21	28.0%
80代以上	2	2.6%
計	75	



問2 あなたの職業をお答えください。

区分	人数	割合
会社員	13	17.3%
自営業	10	13.3%
農林水産業	8	10.7%
パート・アルバイト	7	9.3%
無職	23	30.7%
その他	14	18.7%
計	75	

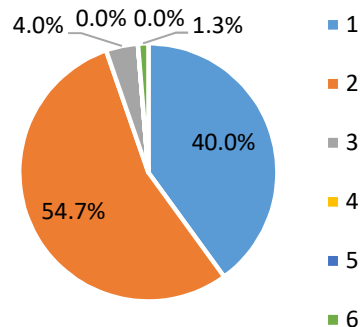


○その他回答

区分	人数	割合
団体職員	2	14.3%
教員	1	7.1%
主婦	3	21.4%
学生	7	50.1%
未回答	1	7.1%
計	14	

問3 ごみに関する問題にどの程度関心がありますか。

区分	人数	割合
1 非常に関心がある。	30	40.0%
2 ある程度関心がある。	41	54.7%
3 あまり関心がない。	3	4.0%
4 まったく関心がない。	0	0.0%
5 わからない。	0	0.0%
6 未回答	1	1.3%
計	75	



問4 ごみに関する問題について、どのようなことに関心がありますか。
(複数選択可能)

区分	回答数	割合
1 最終処分場の残余容量の問題	28	10.5%
2 最終処分場や処理施設建設への反対活動(施設は必要だが、近くに建設はNGなど)	21	7.9%
3 不法投棄や街中でのポイ捨て	56	21.0%
4 海岸漂着ごみによる景観や生態系への影響	39	14.6%
5 海洋プラスチックごみやプラスチックごみの海外輸出に係る諸問題	37	13.9%
6 まだ食べられるのに捨てられてしまう食品いわゆる食品ロス	57	21.3%
7 水銀やPCBなどの有害廃棄物	25	9.4%
8 その他	4	1.4%
9 特に知っているものはない。	0	0.0%

○その他回答

- ・分別された資源ごみの最終処理
- ・回収されたゴミのリサイクル
- ・ペットボトル等のポイ捨て 等

問5 ごみ問題について、私たちの社会の何が原因だと思いますか。
(3つまで選択可能)

区分	回答数	割合
1 大量生産、大量消費、大量廃棄といった私たちの生活様式	53	25.9%
2 ごみを減らすための取組が不十分であること。	35	17.1%
3 ものをリユース(再使用)するための取組が不十分であること。	25	12.2%
4 リサイクル(ごみを資源として再生利用する)への取組が不十分であること。	18	8.8%
5 ものを修理する等、大切に使うことができていないこと。	27	13.2%
6 ごみの分別等、適正な処理が行われていないこと。	18	8.8%
7 環境教育や意識啓発が足りない。	28	13.6%
8 その他	1	0.4%

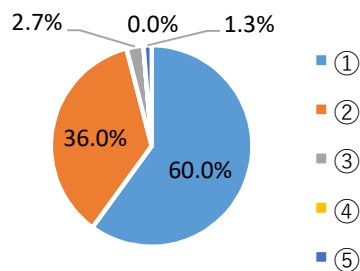
○その他の意見

- ・代替可能製品開発の取組不足

問6 日常生活の中でのごみを減らすための取り組みについて、次の(1)～(18)のうち、いつも取り組んでいるものには①、ときどき取り組んでいるものには②、あまり取り組んでいないものには③、まったく取り組んでいないものには④に○をつけてください。

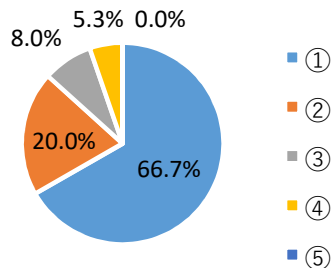
1 不要なものは買わないようにする。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	45	60.0%
② ときどき取り組んでいる	27	36.0%
③ あまり取り組んでいない	2	2.7%
④ まったく取り組んでいない	0	0.0%
⑤ 未回答	1	1.3%



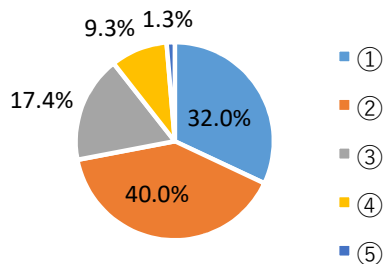
2 マイバッグを持参してレジ袋をもらわないようにする。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	50	66.7%
② ときどき取り組んでいる	15	20.0%
③ あまり取り組んでいない	6	8.0%
④ まったく取り組んでいない	4	5.3%
⑤ 未回答	0	0.0%



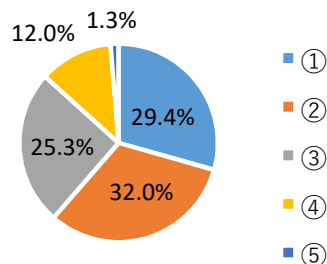
3 簡易包装の商品を購入する。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	24	32.0%
② ときどき取り組んでいる	30	40.0%
③ あまり取り組んでいない	13	17.4%
④ まったく取り組んでいない	7	9.3%
⑤ 未回答	1	1.3%



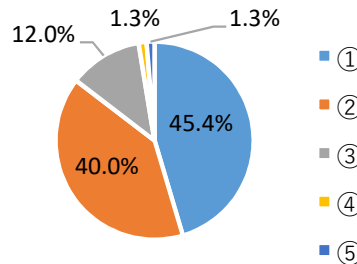
4 マイボトルやマイ箸を持参するなど、リユース品の使用を心がける。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	22	29.4%
② ときどき取り組んでいる	24	32.0%
③ あまり取り組んでいない	19	25.3%
④ まったく取り組んでいない	9	12.0%
⑤ 未回答	1	1.3%



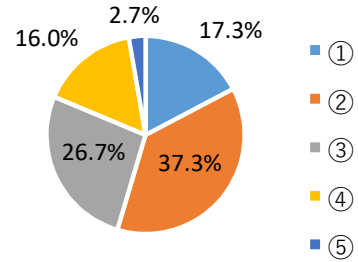
5 使い捨て商品を買わず、詰め替え用商品を選ぶようにする。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	34	45.4%
② ときどき取り組んでいる	30	40.0%
③ あまり取り組んでいない	9	12.0%
④ まったく取り組んでいない	1	1.3%
⑤ 未回答	1	1.3%



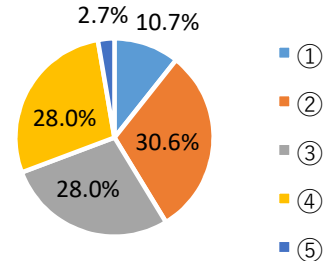
6 プラスチック製品の購入や使用を極力避けるようにしている。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	13	17.3%
② ときどき取り組んでいる	28	37.3%
③ あまり取り組んでいない	20	26.7%
④ まったく取り組んでいない	12	16.0%
⑤ 未回答	2	2.7%



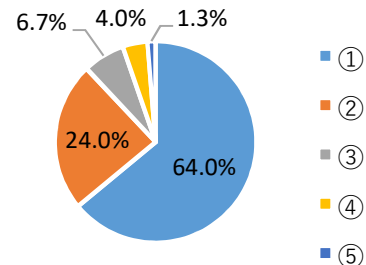
7 プラスチック削減に取り組む企業の商品を選択するよう心がける。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	8	10.7%
② ときどき取り組んでいる	23	30.6%
③ あまり取り組んでいない	21	28.0%
④ まったく取り組んでいない	21	28.0%
⑤ 未回答	2	2.7%



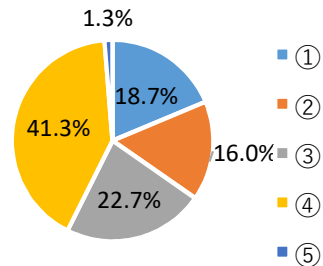
8 小盛りメニューを注文する等、食べ残しによるごみを出さないようにする。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	48	64.0%
② ときどき取り組んでいる	18	24.0%
③ あまり取り組んでいない	5	6.7%
④ まったく取り組んでいない	3	4.0%
⑤ 未回答	1	1.3%



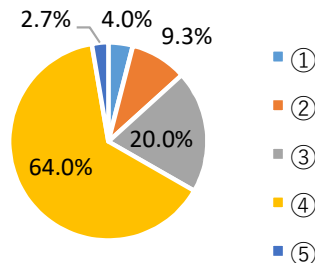
9 生ごみを堆肥にする。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	14	18.7%
② ときどき取り組んでいる	12	16.0%
③ あまり取り組んでいない	17	22.7%
④ まったく取り組んでいない	31	41.3%
⑤ 未回答	1	1.3%



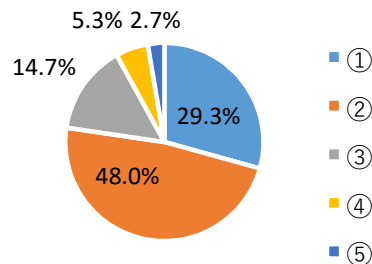
10 フードバンクなどを通じて、余った食品などを提供する。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	3	4.0%
② ときどき取り組んでいる	7	9.3%
③ あまり取り組んでいない	15	20.0%
④ まったく取り組んでいない	48	64.0%
⑤ 未回答	2	2.7%



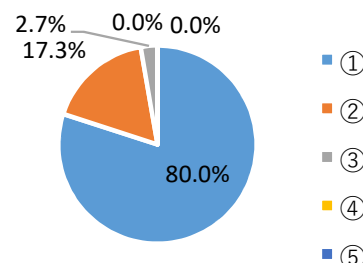
11 壊れたものを修理して使うなど、ものを大切に使う。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	22	29.3%
② ときどき取り組んでいる	36	48.0%
③ あまり取り組んでいない	11	14.7%
④ まったく取り組んでいない	4	5.3%
⑤ 未回答	2	2.7%



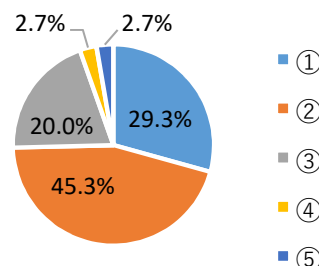
12 ごみをリサイクルしやすいように、きちんと分別する。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	60	80.0%
② ときどき取り組んでいる	13	17.3%
③ あまり取り組んでいない	2	2.7%
④ まったく取り組んでいない	0	0.0%
⑤ 未回答	0	0.0%



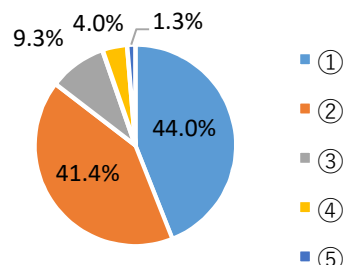
13 ごみが落ちていたら、率先して拾うようにする。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	22	29.3%
② ときどき取り組んでいる	34	45.3%
③ あまり取り組んでいない	15	20.0%
④ まったく取り組んでいない	2	2.7%
⑤ 未回答	2	2.7%



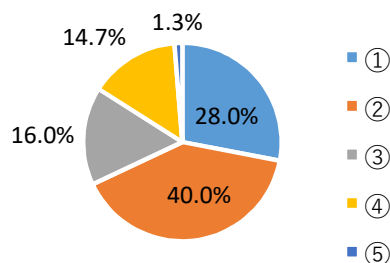
14 一度使った封筒や片面使用済みの紙の裏を再使用するなど、できるだけものを再使用するようにする。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	33	44.0%
② ときどき取り組んでいる	31	41.4%
③ あまり取り組んでいない	7	9.3%
④ まったく取り組んでいない	3	4.0%
⑤ 未回答	1	1.3%



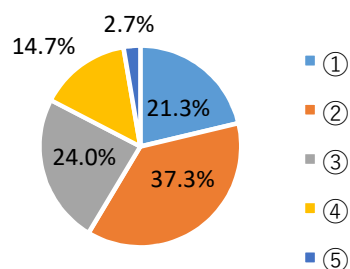
15 リサイクルショップやフリーマーケット、ネットオークションを利用する。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	21	28.0%
② ときどき取り組んでいる	30	40.0%
③ あまり取り組んでいない	12	16.0%
④ まったく取り組んでいない	11	14.7%
⑤ 未回答	1	1.3%



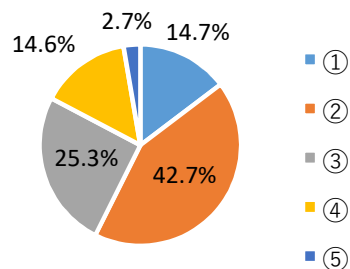
16 使わなくなった携帯電話等を回収ボックスへ投入するなど、店舗や自治体等が設置している品目専用の回収を利用する。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	16	21.3%
② ときどき取り組んでいる	28	37.3%
③ あまり取り組んでいない	18	24.0%
④ まったく取り組んでいない	11	14.7%
⑤ 未回答	2	2.7%



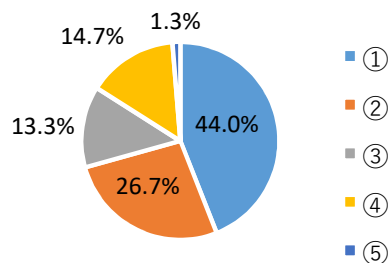
17 リサイクルされた製品を使う。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	11	14.7%
② ときどき取り組んでいる	32	42.7%
③ あまり取り組んでいない	19	25.3%
④ まったく取り組んでいない	11	14.6%
⑤ 未回答	2	2.7%



18 すぐに食べるものは、賞味期限・消費期限の短いものから買うようにする。

区分	回答数	割合
① いつも取り組んでいる	33	44.0%
② ときどき取り組んでいる	20	26.7%
③ あまり取り組んでいない	10	13.3%
④ まったく取り組んでいない	11	14.7%
⑤ 未回答	1	1.3%



19 その他に、いつも取り組んでいることがあればお書きください。

- ・ごみの分別・減量化の徹底
- ・食品ロス削減に繋がる行動
- ・ごみの減量を日常的に意識する 等

問7 ごみを減らすために特に取り組んでいくべきことは何だと思えますか。
(5つまで選択可能)

区分	回答数	割合
1 不要なものは買わないようにする。	50	15.6%
2 マイバッグを持参してレジ袋をもらわないようにする。	48	14.9%
3 簡易包装の商品を購入する。	17	5.3%
4 マイボトルやマイ箸を持参するなど、リユース品の使用を心がける。	17	5.3%
5 使い捨て商品を買わず、詰め替え用商品を選ぶようにする。	29	9.0%
6 プラスチック製品の購入や使用を極力避けるようにしている。	9	2.8%
7 プラスチック削減に取り組む企業の商品を選択するように心がける。	5	1.5%
8 小盛りメニューを注文する等、食べ残しによるごみを出さないようにする。	15	4.6%
9 生ごみを堆肥にする。	7	2.2%
10 フードバンクなどを通じて、余った食品などを提供する。	4	1.2%
11 壊れたものを修理して使うなど、ものを大切に使う。	23	7.1%
12 ごみをリサイクルしやすいように、きちんと分別する。	39	12.1%
13 ごみが落ちていたら、率先して拾うようにする。	5	1.5%
14 一度使った封筒や片面使用済みの紙の裏を再使用するなど、できるだけものを再使用するようにする。	15	4.6%
15 リサイクルショップやフリーマーケット、ネットオークションを利用する。	14	4.3%
16 使わなくなった携帯電話等を回収ボックスへ投入するなど、店舗や自治体等が設置している品目専用の回収を利用する。	2	0.6%
17 リサイクルされた製品を使う。	2	0.6%
18 すぐに食べるものは、賞味期限・消費期限の短いものから買うようにする。	18	5.6%
19 その他	5	1.2%

○その他の意見

- ・消費者・事業者の意識改革
- ・簡易包装の推進
- ・過剰なプラスチック製品の使用をやめる 等

問8 次の施策のうち、ごみの減量化に取り組むきっかけとなりそうなものは何ですか。
(3つまで選択可能)

区分	回答数	割合
1 マイボトルやマイ箸を持参すると、特典や割引を受けられる飲食店等の増加	41	21.8%
2 小盛りメニュー等食べ残し削減に配慮したメニューを取り扱う飲食店等の増加	18	9.5%
3 生ごみから作った堆肥を近所の学校等で引き取り、学校菜園や花壇等で有効活用する仕組みの増加	22	11.6%
4 地域のリサイクルショップに係る情報が入手できる。	16	8.5%
5 商品を出展しやすいフリーマーケットの定期的な開催	14	7.4%
6 飲食店や小売店の売れ残り食品等の情報が入手できる。	22	11.6%
7 環境に配慮した商品(プラスチック製品の代替品など)の情報が入手できる。	23	12.2%
8 ドギーバッグ等による食べ残しの持ち帰りを推奨する飲食店等の増加	21	11.1%
9 フードバンクやフードドライブの情報が入手できる。	6	3.2%
10 その他	5	2.6%
未回答	1	0.5%

○その他の意見

- ・街中にゴミ箱をもっと設置する。
- ・自治体によって異なる分別基準の統一し、分類を分かりやすくする。
- ・生ごみの堆肥化
- ・簡易包装の推進 等

問9 日常生活の中で、ごみの減量化に向けた取り組み等について、どこで情報を入手していますか。

(3つまで選択可能)

区分	回答数	割合
1 県や市町村の発行している広報誌やパンフレット	43	23.8%
2 県や市町村などのホームページ	9	5.0%
3 町内自治会からのお知らせ(回覧など)	23	12.7%
4 テレビ・ラジオのニュースや番組	36	19.9%
5 新聞・雑誌の記事(紙媒体)	20	11.0%
6 新聞・雑誌、SNSなどの記事(インターネット)	21	11.6%
7 イベント・祭りなどのキャンペーン	7	3.9%
8 スーパー等の小売店や流通業者の広告	8	4.4%
9 家族や知人・友人	8	4.4%
10 子供(学校・PTAなどの情報)	2	1.1%
11 その他	0	0.0%
未回答	4	2.2%

問10 その他ご意見等ございましたらお聞かせください。

- ・地球温暖化も懸念されている。各々がゴミ軽減に向けて小さな努力をしていくことが必要。
- ・ポイ捨てに対する罪の意識が低い人が多い。ポイ捨て防止をもっと呼びかけてほしい。
- ・子供の頃から分別の仕方やリサイクルを学ぶことが大切。大人はなかなか変わらない。
- ・食べ残しを減らすための持ち帰りなど、食品を大切にすることを大分県から発信してほしい。
- ・プラごみによる海洋汚染を防ぐため、家庭ごみをしっかり分別するなど呼びかけてほしい。
- ・エコについての意識や理解を高めるため、身近にできるエコ活動などの情報発信をしてほしい。
- ・分別やリサイクル等、している人としない人の差が大きい。ここをもっと埋めれたらと思う。
- ・フリーマーケット等楽しみながらごみ減量に取り組めるイベントを開催してはどうか。 等

※「その他の意見」は抜粋しています。多数のご意見をいただきありがとうございました。